

センター日本史直前予想問題 **学研プライムゼミ編集編**

問 1

日本の木造建築に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 書院造と呼ばれる住宅様式がみられるようになった。
- Ⅱ 奥州藤原氏によって、平泉の地に中尊寺金色堂が建てられた。
- Ⅲ 富や権力を象徴する、豪華な日光東照宮が完成した。

- ① Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ
- ② Ⅰ-Ⅲ-Ⅱ
- ③ Ⅱ-Ⅰ-Ⅲ
- ④ Ⅱ-Ⅲ-Ⅰ
- ⑤ Ⅲ-Ⅰ-Ⅱ
- ⑥ Ⅲ-Ⅱ-Ⅰ

正解→③

問 2

中世の一揆に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- a 中世社会では、同じ気持ちを共有して一体化した集団がしばしば結成され、これが一揆と呼ばれた。
- b 正長の徳政一揆では数万の土一揆が「代始の徳政」を要求し、幕府は徳政令の発布を余儀なくされた。
- c 山城の国一揆では、独自の国掟を定めた国人たちが南山城を自治的に支配することに成功した。
- d 北陸地方などでは日蓮宗が影響力を拡大し、これが背景となって加賀の一方向一揆が発生した。

- ① a・c
- ② a・d
- ③ b・c
- ④ b・d

正解→①

b 「数万の土一揆が『代始の徳政』を要求し、幕府は徳政令の発布を余儀なくされた」のは、嘉吉の徳政一揆（1441）の時のこと。

正長の徳政一揆（1428）では、近江の馬借（運送業者）の蜂起をきっかけに土一揆が京都の酒屋・土倉などを襲撃し、実力による債務破棄などの徳政実施行動（私徳政）を展開した。

d 加賀の一方向一揆は、浄土真宗本願寺派の勢力によって結成された一揆をいう。この一方向一揆は 1488 年に守護富樫政親（とがしまさちか）を打倒し、以後約 1 世紀にわたって加賀を本願寺領国として自治的に支配した（～1580）。なお、日蓮宗の信者が形成した一揆は法華一揆と呼ばれ、特に戦国時代には京都の町衆のあいだで大きな影響力を発揮した。

Ⅱ

中尊寺金色堂（陸奥、現在の岩手県）は、藤原清衡により 1124 年に建立された阿弥陀堂で、内部は金箔や螺鈿（らでん）でおおわれ、当時の栄華をしのぶことができる。堂内中央の須弥壇（しゅみだん）の下には、ミイラ化した清衡・基衡・秀衡三代の遺体が納められていた。

白水（しらみず）阿弥陀堂（陸奥、現在の福島県）や、富貴寺大堂（ふきじおおどう）（豊後、現在の大分県）とともに、院政期の文化を代表する建築物である。

書院造は、客間である書院を中心に構成され、現代和風建築の源流とされる住宅様式をいう。

内部は床・棚・付書院や絵を描いた襖（ふすま）などで構成された。

書院造は桃山時代に様式的な完成をみるが、慈照寺東求堂同仁斎がその典型として知られ、教科書では東山文化で扱われている。

Ⅲ

日光東照宮は、徳川家康を祀る霊廟（れいびょう）建築で、権現造（ごんげんづくり）と呼ばれる神社建築様式が採用されている。

寛永期の文化を代表する建築物。

問 3

「かぶき者」に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 「かぶき者」とは、異様な風体で市中を歩きまわって自己を誇示した一群のことをいう。
- ② 「かぶき者」の存在によって、茶を飲み比べて賭け物を争う闘茶の風習が広がった。
- ③ 生類憐みの令の徹底は、「かぶき者」の存在を断つ効果も発揮した。
- ④ 「かぶき者」の多くは、集団的な武力行使を正統だと考える意識をもっていた。

正解は②

「茶を飲み比べて賭け物を争う闘茶の風習」は、戦いが日常化していた南北朝時代に流行した。

問 4

次の年表は満州事変期の様子を整理したものである。

空欄 **ア**・**イ** に入る説明の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- a 日本は東亜新秩序の建設を声明した。

センター日本史ファイナル

- b 柳条湖事件が発生した。
- c 松岡洋右ら日本側全権は総会から退場した。
- d 張作霖爆殺事件が発生した。

- ① ア-a イ-c
- ② ア-a イ-d
- ③ ア-b イ-c
- ④ ア-b イ-d

正解は③

設問に用いた年表をやや詳しく示すと、以下のようになる。
この機会に、1930年代初頭の外交史を整理しておいてほしい。

【満州事変関連年表】

1931. 9
柳条湖事件(関東軍による南満州鉄道の線路爆破事件)が発生した(満州事変勃発、→ア)。
1931. 12
第2次若槻礼次郎内閣総辞職(犬養毅内閣成立)。
1932. 1
上海事変(第1次)発生。
列国の注目を満州からそらそうとしたが、意図どおりにはいかなかった。
1932. 2
国際連盟のもとでリットン調査団が結成された。
1932. 3
満州国が建国され、清朝最後の皇帝溥儀(ふぎ)を執政とした(1934年から帝政に移行)
1932. 5
五・一五事件発生(犬養毅暗殺、斎藤実内閣成立)。
1932. 9
日本は日満議定書に調印し、リットン報告書に先行して満州国を承認した。
1932. 10
リットン報告書が公表された。
1933. 2
国際連盟臨時総会場で、リットン報告書にもとづく対日勧告決議案が42対1で可決された。
松岡洋右(ようすけ)ら日本側全権は総会から退場した(→イ)。
1933. 3
日本は国際連盟からの脱退を通告した(1935年発効)。
1933. 5
塘沽(タンクー)停戦協定が成立した。
ここで、日本は中国側に要求を認めさせて停戦。
満州事変は一応終結した。

Pain is inevitable Suffering is optional

問5
1955年から1973年にかけて、日本は高度経済成長と呼ばれる急激な経済発展を経験した。
この高度経済成長期について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 産業構造の高度化が進展し、日本経済に占める第一次産業の比重が低下した。
- ② 固定相場のもとでの実質的な円高効果もあって輸出が拡大し、貿易黒字が続いた。
- ③ 経済成長の一方で、足尾鉍毒事件に代表されるような深刻な公害問題も起きた。
- ④ 産業界再編の動きのなかで、政府公社などを中心に企業集団が形成された。

問5 正解は①
② 固定相場は実質的な円安効果をもたらした。
③ 足尾鉍毒事件は明治時代の出来事。
④ 戦後の企業集団は旧財閥系銀行などを中心にして形成された。

問6
江戸時代の貨幣流通について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 金・銀・銭の交換比率は、その時々相場によって変動していた。
- ② 金貨は、価格が表示された計数貨幣で、おもに東日本で流通した。
- ③ 撰銭の横行を防ぐために、しばしば品位を上げた貨幣改鑄が実行された。
- ④ 田沼時代には、金貨の単位で通用価値が表示された計数銀貨が鑄造された。

正解は③
③「撰銭」の習慣は、幕藩体制の確立(寛永通宝の大量流通)とともに解消に向かった。
また江戸時代には、金銀産出量の激減と長崎貿易などでの貴金属流出の持続という事態のなかで経済成長が進行して貨幣不足が顕在化した。
このため、幕府はしばしば品位を落とした貨幣改鑄により通貨量を増大させる必要に迫られた。

問7
平安時代中期の民間信仰に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- X 陰陽道の影響で、外出を控えて謹慎する方違などが行われた。
- Y 人々に浄土の教を説いた空也は、市聖と呼ばれた。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

正解は③
X 誤文。

センター日本史ファイナル

外出を控えて謹慎するのは**物忌**（ものいみ）。

方違（かたたがえ）は、外出などの際に行くべき方角が凶方にあたった場合、吉方の家・寺院などに移動して方角を変えてから目的地に向かうこと。

Y 正文。

平安時代中期にあたる10世紀なかごろに京都市中で浄土教（浄土信仰）を広めた空也は、市聖（いちのひじり）と呼ばれた。

なお、難関私大受験生は、6体の仏が口から飛びだしていることで知られる、教科書掲載の空也（上人）像が鎌倉文化期の康勝の作品で六波羅蜜寺にあることも確認しておきたい。

問8 正解は**㉓**

II

問8

斎藤実は、海軍時代から比較的穏健な人物と評されることが多く、日露戦争後、第1次西園寺公望内閣から第1次山本権兵衛内閣までの8年余、5内閣にわたって海相を歴任した。

下線部に関連して、この時期の出来事に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の**①～④**のうちから一つ選べ。

I 大逆事件が発生し、幸徳秋水らが死刑に処せられた。

II 鉄道国有法が成立した。

III 鈴木文治らが友愛会を組織した。

① I—II—III

② I—III—II

③ II—I—III

④ III—I—II

正解→**③**

II

日露戦争後の1906年、

① 統一的な軍事輸送の実現をめざす陸軍、

② 鉄道整備を利用した支持基盤の拡大を意図した立憲政友会、

③ 赤字経営からの脱却を図る民営鉄道経営者

の思惑が重なり、鉄道国有法が成立した（第1次西園寺公望内閣）。

同法により、主要幹線の民営鉄道17社が買収・国有化され、官営鉄道のシェアは営業距離で90%を突破した。

I

Pain is inevitable Suffering is optional

1910年、天皇暗殺を企てたとして、幸徳秋水ら26名の無政府主義者・社会主義者が逮捕・起訴された。翌年、全員が有罪とされ、幸徳秋水を含む12名が死刑に処せられた（大逆事件）。

事件の結果、国民の多くが社会主義思想を危険視するようになったため、社会主義者の活動は「冬の時代」を迎え、また1911年には、警視庁（首都警察のこと）内に特別高等警察（特高）と呼ばれる思想警察が設置された。

III

友愛会は、1912年に鈴木文治らが組織した。

労資協調主義（資本主義体制を是とする路線）をとった友愛会は、1919年の大日本労働総同盟友愛会への改称を経て、1921年には日本労働総同盟と改称した。

この過程で、労働組合の全国中央組織（ナショナル・センター）へと成長すると同時に、階級闘争主義（社会主義を是とする路線）を鮮明にしていった。

問9

高度経済成長期の日本が経験した大型景気について、古いものから年代順に正しく配列したものを、次の**①～④**のうちから一つ選べ。

① 岩戸景気→神武景気→いざなぎ景気→オリンピック景気

② 神武景気→岩戸景気→オリンピック景気→いざなぎ景気

③ 神武景気→岩戸景気→いざなぎ景気→オリンピック景気

④ 岩戸景気→神武景気→オリンピック景気→いざなぎ景気

正解→**②**

② 高度経済成長期の日本は、神武景気→岩戸景気→オリンピック景気→いざなぎ景気の順に大型景気を経験した。

問10

7世紀後半から8世紀初めにかけての都の変遷を時代順に並べた組合せとして正しいものを、次の**①～④**のうちから一つ選べ。

① 近江大津宮→藤原京→飛鳥浄御原宮→平城京

② 近江大津宮→飛鳥浄御原宮→藤原京→平城京

③ 飛鳥浄御原宮→近江大津宮→藤原京→平城京

④ 飛鳥浄御原宮→藤原京→近江大津宮→平城京

問10 正解は**②**

② 7世紀後半～8世紀初め、都は次のように変遷した。

センター日本史ファイナル

- ① 近江大津宮←天智天皇（667・白村江の戦い後）、
- ② 飛鳥浄御原宮←天武天皇（672・壬申の乱直後）、
- ③ 藤原京←持統天皇（694）、
- ④ 平城京←元明天皇（710）。

問 11

冷戦の激化と占領政策の転換について述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- a 米大統領ローズヴェルトは、対ソ封じ込め政策の必要性を訴えた。
- b 第二次世界大戦後、中国では中国国民党と中国共産党が内戦に突入した。
- c アメリカは、日本を「軍国主義の温床」と位置づけるようになった。
- d 経済安定九原則により、日本経済の自立を図る方針が明確にされた。

- ① a・c
- ② a・d
- ③ b・c
- ④ b・d

問 11 正解は④

a

「ローズヴェルト」の部分が誤り。

米ソを核とする東西二大陣営の対立（冷戦の本格化）のなかで、1947年、米大統領トルーマンが対ソ封じ込め政策（トルーマン=ドクトリン）の必要性を訴え、マーシャル=プラン（西欧復興援助計画）を発表した。

さらに1949年には、アメリカ・西欧諸国の共同防衛組織として北大西洋条約機構（NATO）が結成されることになる。

c

「軍国主義の温床」の部分が誤り。

冷戦の激化に対応するため、アメリカは、日本を「共産主義の防壁」と位置づけ、そのためにはまず日本経済の復興・自立を図ることが不可欠だという判断を固めた。

こうして1948年には、過度経済力集中排除法にもとづく企業分割を大幅に緩和するなどの措置が実行され、さらに年末、経済安定九原則が指令されると、翌年には、アメリカが派遣した銀行家のドッジと財政学者のシャープによって、経済自立化のための具体策が明確にされていった。

問 12

江戸時代の実学に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

Pain is inevitable Suffering is optional

- a 関孝和が日本独自の数学である和算を大成した。
- b 本草学では、太宰春台が『大和本草』を著した。
- c 前野良沢らによって、西洋医学の解剖書が訳述された。
- d 農学では、大蔵永常が『農業全書』を著した。

- ① a・c
- ② a・d
- ③ b・c
- ④ b・d

正解は①

b

「太宰春台」は江戸時代中期の儒学者（古学派）で、荻生徂徠の弟子。

『大和本草』は貝原益軒が著した。

d

『農業全書』は宮崎安貞の著作。

江戸時代後期の農学者大蔵永常は、『農具便利論』『広益国産考』などを著した。

問 13

室町時代における日明貿易について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 明が海禁政策をとったため、中国人の海外渡航は禁じられていた。
- ② 幕府から交付された朱印状を明に持参することが義務づけられた。
- ③ 日本国王が明の皇帝へ朝貢し、その返礼として品物を受けとる形式がとられた。
- ④ 幕府の衰退によって、貿易の実権は細川氏や大内氏の手に移っていった。

正解→②

②「朱印状を明に持参する」の部分が誤り。

日明貿易では、明から交付された勘合を持参することが義務づけられた。

一方、朱印状（上級武士や将軍が発行した公文書）によって渡航許可を受けた日本人商人による朱印船貿易は、戦国時代から江戸時代初期にかけて展開された。

問 14

太平洋戦争中の出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 連合国3国による首脳会談がベルリン郊外のポツダムで開催された。
- Ⅱ 日本の影響下にある諸地域の代表が集まり、大東亜会議が開かれた。
- Ⅲ ミッドウェー海戦での敗北の結果、日本は海軍の主力部隊を失った。

- ① Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

センター日本史ファイナル

- ② II→III→I
- ③ III→I→II
- ④ III→II→I

正解は④

④ IIIは1942年6月（ミッドウェー海戦）、IIは1943年11月（大東亜会議、カイロ会談と同時期に開催）、Iは1945年7月（ポツダム会談）。

問15

近代の日本において実証的な歴史研究をおこなった人物について述べた次の文X・Yと、それに該当する人物名a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X この人物は、「神道は祭天の古俗」を著して神道家などから非難された。
 Y この人物は、『日本書紀』や『古事記』に科学的分析を加えた。

- a 内村鑑三
- b 久米邦武
- c 津田左右吉
- d 西田幾多郎

- ① X—a Y—c
- ② X—a Y—d
- ③ X—b Y—c
- ④ X—b Y—d

問16

ヤマト政権下の渡来人について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 渡来人は、硬質で灰色の土師器の製作技術を伝えた。
- ② 6世紀には百済から渡来した五経博士によって、儒教が日本に伝えられた。
- ③ 渡来人は、養蚕・機織り・土木・建築などの最新の技術や知識をもたらした。
- ④ ヤマト政権は、渡来人を鞍作部・錦織部などとよばれる技術者集団に組織した。

問15 正解は③

b

近代日本における歴史学の先駆者とされる久米邦武（1839～1931）は、岩倉使節団（岩倉遣外使節）に随行し、帰国後に『特命全権大使 米欧回覧実記』を編纂した。1892年、田口卯吉の主宰する「史海」に転載された論文「神道は祭天の古俗」に対して、皇室の尊厳を汚すものだという神道家・国学者らの反発が強まり、帝大教授辞任を余儀なくされた。

Pain is inevitable Suffering is optional

c

歴史学者の津田左右吉（1873～1961）は、『日本書紀』や『古事記』を厳密かつ批判的に研究し、日本の古代史像を一変させた。このため国家主義勢力から激しい攻撃をうけることになり、1940年には『神代史の研究』など4冊の著作が発禁処分とされた。

問16 正解は①

① 「土師器」が「須恵器」の誤り。土師器は弥生土器の系譜を引く赤焼きの土器で、須恵器の製作技術が伝えられても変わらず使用された。

問17

中世後半になると、貨幣経済の浸透が顕著になった。次の写真a～dについて、中世社会において用いられた貨幣の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。



- ① a・c
- ② a・d
- ③ b・c
- ④ b・d

正解は②

b

江戸時代に流通した丁銀の写真。江戸幕府によって鑄造された銀貨（丁銀・豆板銀など）は重さが不定であるため重量をはかって使用する秤量（しょうりょう）貨幣で、おもに西日本で流通したこと（上方の銀遣い）にも注意しておこう。

問18

1888年頃の民権運動の様子について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 愛国社を母体として国会期成同盟が結成された。
- ② 秩父事件が発生したが、軍隊の出動によって鎮圧された。
- ③ 旧自由党員の大井憲太郎らによる大阪事件が発覚した。
- ④ 大同団結運動によって民権派の再結集がはかられた。

正解→c

センター日本史ファイナル

江戸時代に流通した寛永通宝の写真。

この銭貨は、幕藩体制の確立にともなって全国に普及し、17世紀後半には、皇宋元宝（→d）・永楽通宝（→a）といった渡来銭（宋銭・明銭など）をほぼ完全に駆逐していった。

問 19

南北朝の動乱は、武士社会のあり方を大きく変化させる結果をもたらした。血縁的結合を特質とする惣領制が崩壊するなかで、地縁的結合にもとづいて武士集団がつくられ、相続の形態も（□□□）のである。

このため、地縁的に結びついた小規模な武士集団が多数形成され、それらが尊氏派・直義派などの上位勢力と無原則に提携したり敵対したりする状態が生じ、戦闘の日常化・全国化がもたらされた。

空欄（□□□）に入る説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 分割相続から嫡子がすべてを相続する単独相続へと急速に変化していった
- ② 分割相続から長子がすべてを相続する単独相続へと急速に変化していった
- ③ 嫡子がすべてを相続する単独相続から分割相続へと急速に変化していった
- ④ 長子がすべてを相続する単独相続から分割相続へと急速に変化していった

正解は①

①鎌倉時代後期以降、惣領制の崩壊が進行すると、従来の血縁的結合ではなく、地縁的結合にもとづいて武士集団がつくられるようになり、この過程で、相続の形態も分割相続から嫡子（一家を統率する地位をうけつぐ者）への単独相続へと変化していった。

問 20

5～6世紀の文化について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ヤマト政権は渡来人を品部とよばれる技術者集団に編成して把握した。
- ② 百済から渡来した五経博士によって儒教が伝えられた。
- ③ 堅穴式石室が広がりを見せ、副葬品の性格も変化していった。
- ④ 群集墳とよばれる小古墳が数多く営まれるようになった。

正解は③

③「堅穴式石室が広がりを見せ」の部分が誤り。

堅穴式石室は古墳時代の前・中期（3世紀中頃～5世紀）にみられるもので、横穴式石室（追葬可能）が正しい。

問 21

近世農業における肥料の利用について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 購入肥料のことを金肥といい、これにより生産力の向上が図られた。
- ② 干鰯の普及は、地曳（引）網などを用いる水産業の発達に支えられた。

Pain is inevitable Suffering is optional

③ 金肥としての油粕は、綿作などの商品作物栽培を一層効果的にした。

④ 金肥の利用が広がると、従来多用されてきた自給肥料は姿を消した。

問 21 正解は④

④「自給肥料は姿を消した」の部分が誤り。

金肥はおもに綿作などの商品作物栽培に用いられ、施肥（せひ）の基本である自給肥料の地位は依然として高かった。

問 22

鎌倉時代の武士がおこなった武芸訓練に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 馬場に犬を放っておこなう武芸訓練のことを、流鏑馬という。

Y 馬上から遠距離的的を射る武芸訓練のことを、巻狩という。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

正解は④

X

誤文。

「馬場に犬を放っておこなう武芸訓練」は、犬追物（いぬおうもの）と呼ばれる。

また、流鏑馬（やぶさめ）とは馬を疾駆させて馬上から3カ所の的を次々に射る訓練をいう。

Y

誤文。

「馬上から遠距離的的を射る武芸訓練」は、笠懸（かさかけ）と呼ばれる。

また、巻狩とは狩場を四方から多人数でとりかこんで獲物を追いつめながら射とめる、戦闘訓練を兼ねた大規模な狩猟をいう。

なお、犬追物・笠懸・流鏑馬を総称して騎射三物（みつもの）ということも確認しておきたい。

問 23

近代における民法制定過程に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 民法などの編纂をとおして、日本は近代的法治国家としての体裁を整えた。

Y 民法典論争を経て、ポアソナードらによって起草された民法が公布された。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤

センター日本史ファイナル

Pain is inevitable Suffering is optional

- ③ X 誤 Y 正
④ X 誤 Y 誤

正解は②

Y 誤文。

1890年に公布された民法（ボアソナード民法）については、フランスをモデルにした自由主義的な内容をもつものだったため、その賛否をめぐり法学者のあいだで激しい論争が展開されることになる（民法典論争）。

このため民法の施行は延期され、1896年と1898年に、戸主と長男の権限の強い伝統的な家制度を存続させた修正民法（明治民法）が公布された。

問 24

戦国大名の領国経営について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 戦国大名のなかには、石高を基準にして検地帳を作成する者もいた。
② 戦国大名のなかには、新しい武器を使った集団戦の遂行を図る者もいた。
③ 戦国大名のなかには、円滑な貨幣流通のために撰銭令を発する者もいた。
④ 戦国大名のなかには、国人一揆などの私戦を明確に禁止する者もいた。

正解は①

① 戦国大名の多くは、領国内の土地・地代などを銭に換算した数値である貫高を、農民から年貢を集め、また家臣に軍役を課すための基準とした（貫高制）。

その際、農民と土地に対する直接支配の強化をめざした戦国大名は、土地の面積・収入額・耕作者などを記した土地台帳を、家臣などに提出させる自己申告方式の検地（指出検地）を実施した。

STEP2 私大対策

昭和の政治と外交満点シート

首相と政党名が絶対的キーワード、あとは要点を中心に理解すること。

内閣	経済	外交
《 》	震災手形処理問題 1926 加藤が病死、同年末に昭和	日ソ基本条約 1925
1926 (昭和元) 第1次 《 》	要点① 【 】1927の発生 →【 】蔵相の失言 →取り付け騒ぎの発生 【 】の倒産 →【 】の経営危機 【 】【議長_____】 で否決され救済に失敗 → 辞職	蒋介石の【 】1926～→ 中国統一へ 協調外交 → 外相 【 】 → 中国内政不干渉の方針、政 友会などの批判

《 》	<p>要点②金融恐慌の沈静化 【 】発令 日銀の救済融資</p> <p>要点③金融恐慌の影響 → _____ 三井・三菱・住友・安田・第一 → 財閥の金融支配強化 一方、救済融資の実行が不良企 業の整理を不徹底にし、結果とし て不況を継続させるという、当時 の _____ _____ _____。</p>	<p>要点①ジュネーブ会議 1927 米・英・日三カ国で補助艦の制 限を目指すも妥結しなかった。</p> <p>要点②【 】1928パリ で調印。国際紛争解決のための 戦争は行わない。</p> <p>※この流れ重要!</p> <p>③【 】1927～28 → 北伐の阻止が目的</p> <p>④【 】1928 → 「対支政策綱領」決定</p> <p>⑤【 】積極外交を 徹底するため、中国関係の外交 官・軍人らを集めて開催した会 議。</p> <p>⑥【 】1928 積極外交に満足しなかった関東 軍の河本大作は、満州の武力制 圧を企図し、北伐軍に敗れて帰 還する親日派の軍閥張作霖を 奉天郊外で爆殺した。当時、こ の 張作霖爆殺事件は 「 _____ 」と 称され、その真相は明らかにさ れなかった。 事件の結果、張作霖の後継者 張学良は国民党に合流し、蔣介 石は中国をほぼ統一することに 成功した。田中義一は昭和天皇 の信任を失い、1929年、内閣総 辞職に追い込まれる。</p>
-----	--	--

	<p>要点⑨第1回普通選挙実施 1928⇒衆議院が解散され初の男性普通選挙が実施された。【.....】など無産政党から8名当選、非合法活動中の日本共産党も『赤旗』創刊し労農党候補として立候補させるなど活動を活発化。</p> <p>要点共産党の弾圧 【.....】改正 1928⇒最高刑が【.....】に 議会上に提出されたが山本宣治らの反対派議員が多く審議未了で廃案となる。これを【.....】で成立させた。 特別高等警察(特高)の全国配置 1928 ×【.....】事件 1928 ×【.....】事件 1929 ⇒共産党員の大量検挙、壊滅的打撃を受ける</p>
《.....》	<p>金解禁・【.....】推進 (井上財政)</p> <p>要点 I ロンドン海軍軍縮条約 (a)主力艦建造禁止措置5年延長 (b)</p>

【近代 12】(2009年・本)軍縮の展開。1. 国策の手段としての戦争の放棄を約した不戦条約に調印した。2. 補助艦の総保有量(トン数)を英・米の約7割とすることに合意した。3. 主力艦保有量(トン数)を英・米の5分の3に制限することに合意した。

【近代 12 解答】 [3→1→2] 3. 高橋是清内閣の時、ワシントン海軍軍縮条約(1922)で主力艦の保有制限に合意した。1. 田中義一内閣の時、パリで不戦条約に調印した(1927)。2. 浜口雄幸内閣の時、ロンドン海軍軍縮条約(1930)で補助艦の保有制限に合意した。

【近代 13】(2010年・本)政商の成長。1. 開拓使官有物払下げが批判を招き、中止された。2. 前蔵相と三井財閥の幹部が、血盟団員に殺害された。3. 三菱の岩崎弥太郎が、台湾出兵の際に軍事輸送を請け負った。

【近代 13 解答】 [3→1→2] 3. 岩崎弥太郎は明治初期の台湾出兵(1874)の軍事輸送で三菱の基礎を築いた。1. 開拓使長官黒田清隆の政商五代友厚への官有物払い下げが問題となり、明治十四年の政変につながった。2. 血盟団事件(1932)は昭和初期で犬養毅内閣の時。

昭和恐慌と協調外交の挫折

●浜口雄幸内閣…立憲民政党(1927、憲政会と政友本党の合同)

	<p>経済の再建⇒【井上準之助】蔵相、協調外交の復活⇒【幣原喜重郎】外相 慢性不況の原因⇒1917年より金輸出禁止が続く⇒為替相場が不安定(円安) ⇒国際競争力の不足⇒輸入超過が続く</p>
経済	<p>井上財政⇒【デフレ】政策 【緊縮財政】…物価の引き下げ、【産業合理化】…国際競争力の強化 【金輸出解禁(金解禁)】1930…為替相場の安定をはかる 旧平価(100円=49.85ドル)で解禁⇒円高となる</p> <p>【昭和恐慌】の発生 原因…【世界恐慌】1929～アメリカより、金解禁で円高⇒輸出は停滞 企業の操業短縮・倒産、失業者の増大 ⇒【重要産業統制法】1931…不況カルテル結成の容認 農業恐慌 アメリカへの【生糸】輸出激減⇒原料の繭価の下落・出稼ぎ女工の失業 ⇒農家の収入減少 豊作貧乏 1930…米価下落、東北・北海道の凶作 1931 欠食児童や女子の身売りが続出</p>

外交	<p>幣原外交…【 協調外交 】 日中関税協定 1930…中国の関税自主権を認める</p> <p>【 ロンドン海軍軍縮条約 】1930…全権【 若槻礼次郎 】 補助艦の保有制限⇒米英に対して総括約 7 割(大型巡洋艦は 6 割) 政府は調印にふみ切り、批准にも成功する</p> <p>【 統帥権干犯問題 】…海軍軍令部・立憲政友会・右翼は条約調印を批判 ⇒浜口首相は右翼の青年に狙撃される 1930⇒第 2 次若槻礼次郎内閣</p>
----	---

★頻出マスター 協調外交と強硬外交

<p>【 協調外交 】 1924～27 1929～31</p>	<p>【 幣原喜重郎 】外相（憲政会、立憲民政党内閣の外相）による国際協調路線</p> <p>対【 中国 】⇒ 内政不干渉 対【 英米 】⇒ 協調路線</p> <p>1925 日ソ基本条約調印(ソ連との国交を樹立) 1930 【 ロンドン海軍軍縮条約 】調印(補助艦の保有量を決める) ⇒【 統帥権干犯 】問題起こる</p>
<p>【 強硬外交 】 (積極外交) 1927～29</p>	<p>【 田中義一 】内閣（立憲政友会）による中国への強硬路線</p> <p>対【 中国 】⇒ 強硬路線 幣原外交を「軟弱外交」と批判</p> <p>1927～28 3 次にわたる⇒ 山東出兵</p> <p>1927 【 東方会議 】(満蒙の日本権益を実力で守る方針を決定) 1927 【 張作霖爆殺事件 】により、1929 年に田中義一内閣は総辞職</p> <p>対【 英米 】⇒ 協調路線 1928 パリで不戦条約調印</p>